

会 議 記 録			
会議の名称	広報広聴会議		会議場所 全員協議会室
			担当職員 加藤 太郎
日 時	令和4年11月21日(月曜日)		開 議 午後1時30分
			閉 議 午後1時49分
出席委員	◎平本 〇三上(広報部会長) 〇赤坂(広聴部会長) 富谷 大塚 木村 三宅 松山		欠席：小川
執行機関 出席者			
事務局 出席者	井上事務局長、数井次長、加藤副課長兼議事調査係長、小野主任、山内主事		
傍 聴	可	市民0名	報道関係者0名
			議員0名(-)

会 議 の 概 要

13:30

1 開 議

[平本委員長 開議]

<平本委員長>

小川委員から欠席届が提出されているので、承知願う。

[事務局副課長兼議事調査係長 日程等説明]

<事務局副課長兼議事調査係長>

本日の会議で今期の広報広聴会議は終了予定であるが、引き続き部会では議会だよりの編集・発行作業等をお世話になるので、よろしく願います。

2 案 件

(1) 広報部会活動

<三上副委員長(広報部会長)>

議会だよりNo.195、12月議会号については、令和5年1月31日発行、2月1日全戸配布となる。今回は議員の改選時期と重なるので、広報部会ではすでに編集会議を始めている。1ページの表紙から5ページの特集記事までは、年内に大方の内容を固めていくこととし、12月議会中や議会終了後も編集会議を行う予定である。6ページ以降は事務局で大枠を作っていただき、最終はいつもどおりの編集としていきたい。今までの議会だよりや今号の編集について、意見や提案があれば伺いたい。12月下旬には先行して編集できた内容を確認いただき、全体のゲラは1月下旬にレターケースに入れることとしている。

<平本委員長>

広聴部会から何か意見はあるか。

<赤坂副会長(広聴部会長)>

今期の議会だよりは非常に見やすくよくなったと感じている。来期に向けてさらに分かりやすく、子どもたちにも理解できるような議会だよりを作っていただきたい。

(2) 広聴部会活動

<赤坂副委員長(広聴部会長)>

先日、広聴部会を中心に南桑中学校に出向いて、中学生との意見交換会「市議会議

員さんと話そう会」を実施した。テーマは主に環境や福祉などであったが、中学生とコミュニケーションを図る中でいろいろな意見をいただいた。

アンケートでは、

- ・議員の皆さんに対して最初は怖くて堅物で近づきがたい人たちだと思っていましたが、実際に会ってみるととても優しく、気さくでユーモアのある人たちで話しやすかった。
 - ・亀岡市の未来や環境問題、道路問題など、いろいろ考えてくださっていたことを知りませんでした。
 - ・議員の皆さんにはあまり興味がなかったが、少し興味を持ちました。18歳になったら選挙に行こうと思います。
 - ・環境問題でいろいろ取り組んでおられるが、道をよく見るとタバコや飲みかけのペットボトルが捨てられているので、30年後までにはなくしてほしい。
 - ・30年後の亀岡市はもっとよい街になっていると思います。今よりも通学・通勤が便利になって、亀岡市に住みたいと言う人が少しでも増えることを願います。
- といった感想や意見をいただいた。最初は亀岡市にあまり興味がない生徒たちもいたが、実際に会って直接話して初めて分かることがあるので、実施して非常によかったと思う。学校関係者にも喜んでいただいた。

<平本委員長>

広報部会から何か意見はあるか。

<三上副会長（広聴部会長）>

意見交換会の挨拶で申し述べたが、議会だよりNo.195のカラーの紙面でその様子を掲載する予定であり、楽しく交流できてよかったと思う。前回の東輝中学校との意見交換会の記事と同じくらいのスペースで掲載したい。

（3）広報広聴会議の申し送り事項について

<平本委員長>

広報広聴会議の次期への申し送り事項として、議会運営委員会より、さらに開かれた議会として市民に見近に感じていただくために、夏休みなど長期休業期間に市民の議場見学会を実施すること。重要な案件や採決が拮抗した際には、議会報告会を開催すること。わがまちトークを再開する際には、ファシリテーターとしての心構えや留意事項等を広報広聴会議で整理して示していくことの3点について、広報広聴会議で対応していくこととされており、この内容を次期に申し送りたいがよいか。

—全員了—

<平本委員長>

続いて、各部会での申し送り事項を整理いただいたので、まずは三上副委員長（広報部会長）から報告願う。

<三上副委員長（広報部会長）>

議会だよりについては、17期後半の初めに確認した編集方針を引き継ぐ中で、さらなる紙面の改善を目指し創意工夫するよう努めてほしい。インターネット等の活用やYouTube配信とのリンクによる効率的・効果的な手法を積極的に取り入れていただきたい。例えば、本会議での討論の全文や要旨のQRコード化はすでに行っているが、常任委員会の記事が各委員会で3分の1ページずつしか紙面が取れないので、QRコードで審議状況の録画配信に飛ばして詳細を見ることができるよう検討してはどうか。また、モニター制度やアンケートで意見募集を行い紙面改善に活用できればよいと思う。議会だよりに触れる機会を増やすために、設置場所の拡大も検討いただきたい。来期のメンバーが確定すれば、これまでに蓄積された

編集ノウハウや一定の見せ方を研修等で習得され、方向性を議論いただきたい。できれば議会広報の講師である芳野政明氏をお招きして、全議員もしくは広報広聴会議委員を対象とした研修を行ってはどうかとアイデアを出している。その他の広報活動としては、我々は議会を代表して広報活動を行っていることから、議会（議長や議会運営委員会等）との報告・連絡・相談で共通理解を図って進めていくこと。これには今期平本委員長にかなり御尽力いただいた。また、広聴活動との連携をさらに強めること。YouTube配信の安定的な運用に向け、事務局だけに任せずに、部会として技術的なノウハウを身につけて、基本的には議員で対応できるようにしていくこと。引き続きFacebookでの議会活動の発信等、SNSの積極的な活用に取り組んでいくこと。その他、スマート議会を目指した取組に積極的に協力していくこと。さらに、デジタル的なことだけではなく、議長記者会見のバックボードなどアナログ的なことについても、できることは考えていただきたい。

<平本委員長>

これまでの広報部会の中でアイデアを出しながら切磋琢磨され、議会だよりの見やすい紙面づくり等に御努力いただいてきた。ただいまの三上副委員長（広報部会長）から説明のあった内容を次期に申し送ることでよいか。

—全員了—

<平本委員長>

字句等は正副委員長で整理させていただく。続いて、赤坂副会長（広聴部会長）から報告願う。

<赤坂副会長（広聴部会長）>

今期はコロナ禍で広聴活動が制限された中で、自治会へのアンケートボックスの設置、街頭アンケート、まち歩きトーク・インタビュー、中学生との意見交換会「議員さんと話そう会」など、いろいろなことに取り組むことができた。広聴部会から次期への申し送り事項として、市内の小・中・高校等との意見交換会を実施し、子どもたちと交流する機会をしっかりと増やしていただくこと。また、自治会・団体等への広聴活動として、自治会等とのわがまちトークに加えて、区レベルや小さなコミュニティ、サークル等を含めてコミュニケーションが取れる機会をつくっていただくことを次期につなげていきたい。

<平本委員長>

子どもたちに亀岡市や議会について関心を持っていただく広聴の機会は、大切なことで大変ありがたいと思っている。今期はコロナによって自治体単位での広聴活動がほぼできなかった。今後のコロナの状況によるが、議会に関心を持っていただく広聴活動として、市民目線に立って自治会や団体等と積極的にコミュニケーションを取っていただくことを引き継いでいきたいと思う。ただいまの赤坂副委員長（広聴部会長）から説明のあった内容を次期に申し送ることでよいか。

—全員了—

<平本委員長>

字句等は正副委員長で整理させていただく。

3 その他

<事務局副課長兼議事調査係長>

先ほどの議会運営委員会で委員会等のオンライン会議の開催を可能とする規定整備が決定された。この後の会派会議で詳細の報告があると思うが、広報広聴会議については、亀岡市議会会議規則で協議・調整の場として位置づけられており、今後はオンライン会議の対象会議となるものである。また広報広聴会議の運営等に係る

詳細については、別途亀岡市議会広報広聴会議規程を定めており、併せて関係条項を改正することとされたので、御承知おき願う。

<平本委員長>

部会には最後まで活動いただくことになるが、広報広聴会議としてはこれが最終の会議となった。広報部会委員には日々多忙の中で議会だよりの編集会議を重ねて御努力いただき、また広聴部会委員にはコロナ禍で活動が制限される中、いろいろなアイデアを出しながら積極的に広聴活動に取り組んでいただいたことに対して、それぞれ感謝申し上げます。今期皆さんに御尽力いただいたことをもとに、先ほど取りまとめた事項をしっかりと18期議員に申し送ることとし、一層議会に対する関心を市民に持っていただけるよう、広報広聴活動に御努力いただきたいと思います。これで今期の広報広聴会議を散会とする。

散会 13:49